

# 令和5年度放課後等デイサービス 職員向け評価アンケート 実施報告

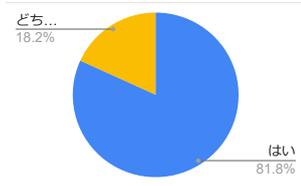
## 1. 実施概要

実施事業者/事業所： 株式会社Kaien TEENS関内  
 実施期間： 令和5年10月1日～10月31日  
 回答者： 放課後等デイサービススタッフ  
 回答者数： 11名  
 回答率： 100.0%

## 2. 回答結果

### ①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか

はい 9名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 2名

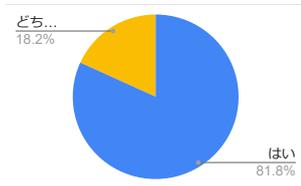


※①に関して改善目標、工夫している点など

目標：①安心して話せる環境を整備する。工夫①個室が1つかないため、個人的なことを面談で何がある際は、水流の音を流す、利用者の席の位置を調整する。などして、他の利用者に直接聞かれないように配慮する。視覚的な資料を用いて、口頭で全て説明しないようにする。  
 目標：②個々の課題に集中して取り組みやすい環境作りをする。工夫②今後、やっていきたいこと（見て行うことがよりわかりやすくなるように、目的ごとに、椅子や机の配置や物の設定を整理する。）\*遊びと学習のスペースをできるだけ混在しない

### ②職員の配置数は適切であるか

はい 9名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 2名

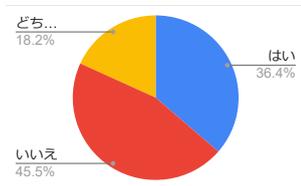


※②に関して改善目標、工夫している点など

—

### ③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか

はい 4名  
 いいえ 5名  
 どちらともいえない 2名

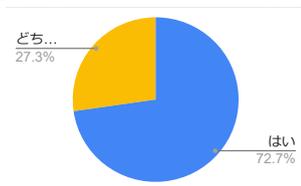


※③に関して改善目標、工夫している点など

通路は狭く、お子さんが椅子に座っていると後ろをとるのが難しいと思います。/以下、建築構造上の問題で対応難しい。①EV出入口からエントランスのスペースが狭く、玄関は外開き扉の為、車いす使用の利用希望者、家族は一人で入室するのは難しい。②トイレの入り口は、水回りが15cmほど高くなっているため、段差がある。女子のトイレはスペース狭く車いす利用者は使用できない。

### ④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか

はい 8名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 3名

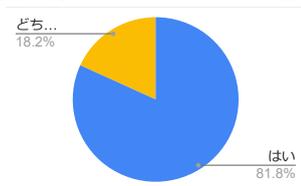


※④に関して改善目標、工夫している点など

非常勤含め支援会議を行っています。/拠点MTGが昨年途中でなくなってから、チームで定期的に実施していないと思われる。（直近2か月は休職の為、不明）  
 案として、月例、3か月に1回など、業務改善をテーマにチームでミーティングをして、PDCAサイクルを実施する機会を定期的に行った方がよい。又は、個人情報保護のチェックリストのようなチェックリストを作成して、定数評価をする仕組みを拠点で作れるとよい。

### ⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか

はい 9名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 2名

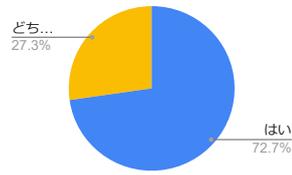


※⑤に関して改善目標、工夫している点など

・第5週末や祝日での拠点イベント開催する。お子さん達の人気のゲーム系の企画だけでなく、宿題大作戦や面接対策講座など、季節に合わせたニーズも取り入れて実施している。

⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか

はい 8名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 3名

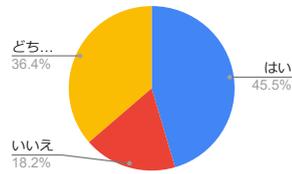


※⑥に関して改善目標、工夫している点など

公開はしていますが、非常勤の方も把握されているかは懸念です。随時情報公開・共有を行っていきます

⑦第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか

はい 5名  
 いいえ 2名  
 どちらともいえない 4名

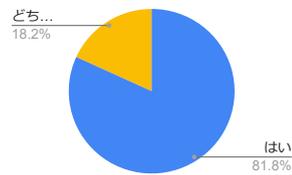


※⑦に関して改善目標、工夫している点など

第三者評価を取り入れていないと認識しています。拠点が増えていくので、ご検討をお願いしたいです。

⑧職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか

はい 9名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 2名

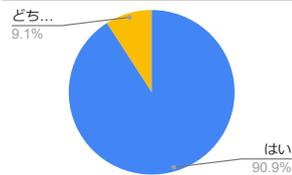


※⑧に関して改善目標、工夫している点など

年2回自社研修を行うほか、横浜市からの研修案内は職員に周知しています / Slackまなび場の情報から、外部講習への参加をし、その内容や資料を拠点で共有したり、会社のYouTube動画視聴、譽田先生、益田先生等協力機関の先生方の講演視聴した内容を拠点で話題にしたり、その考え方を支援に取り入れている。

⑨アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか

はい 10名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 1名

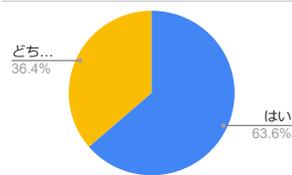


※⑨に関して改善目標、工夫している点など

毎回振り返りで経過や直近の様子について共有している。 / 心理検査の結果の理解と活用をして、アセスメントをより客観的にする。保護者だけでなく本人のニーズ収集シートの作成やコミュニケーション力の評価シート等で、定数的に課題を分析できるとよい。

⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか

はい 7名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 4名

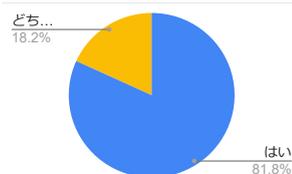


※⑩に関して改善目標、工夫している点など

⑨と同じ

⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか

はい 9名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 2名

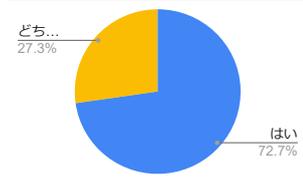


※⑪に関して改善目標、工夫している点など

目的、タイムスケジュール、役割分担等は拠点のドライブに保存して、次のイベントの運営に生かすようにしている。

②活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか

はい 8名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 3名

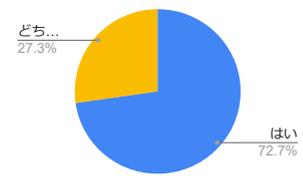


※②に関して改善目標、工夫している点など

一部のお子さんで、ずっと変わらない支援内容になってしまっているように思います。/ 拡大拠点MTGでプログラム内容を拠点間で共有し、その都度ニーズや集客度を検討して実施している。

③平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか

はい 8名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 3名

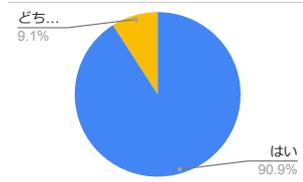


※③に関して改善目標、工夫している点など

・平日のプログラムの自由度が高いため、サイレントマジョリティー傾向の利用者の支援がパターン化されやすいのが懸念事項  
 ・ケース検討や朝会の場面で、問題提起するようにしている。(チームでの再アセスメント、半年先、次の進路先に向けての理想像、本人、家族の希望を共有した上で、日々の支援内容を更新する)

④子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか

はい 10名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 1名



※④に関して改善目標、工夫している点など

お子さん同士をつないでマイクラをしたりして、お子さん同士の交流の場になっています。/ 本人の希望を1on1シートで聞き取り、家族とすり合わせて個別活動と集団活動の目標設定をしている。また、次の進路を控えている利用者に必要な課題やプログラム設定を意識して、ご本人、家族に提案して意向確認している。

⑤支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか

はい 11名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 0名



※⑤に関して改善目標、工夫している点など

—

⑥支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか

はい 11名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 0名



※⑥に関して改善目標、工夫している点など

欲を言えばもう少し時間が取れるとうれしいです。

⑦日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか

はい 11名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 0名

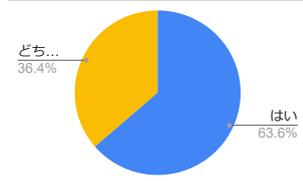


※⑦に関して改善目標、工夫している点など

—

⑩定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか

はい 7名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 4名

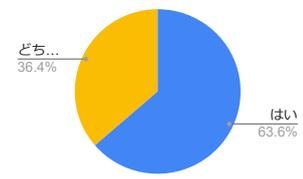


※⑩に関して改善目標、工夫している点など

本人、家族の意向が十分反映されていない。(進路選択前の面談は、保護者に丁寧に説明の元、面談必須にするとか、1年に1回は対面で面談する等、契約に明記するなど、方法を提案していきたい。)

⑪ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか

はい 7名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 4名

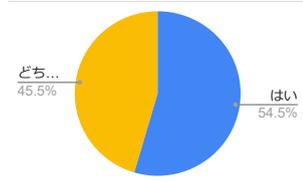


※⑪に関して改善目標、工夫している点など

来年の法改正も視野にいれて、発達検査の解釈や支援の中でのアセスメント力を向上させるために内外の研修に参加し、支援の中で実践する。

⑫障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか

はい 6名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 5名

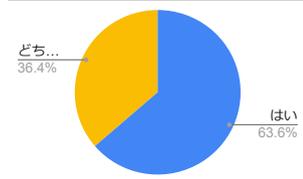


※⑫に関して改善目標、工夫している点など

相談支援事業所を使用しているお子さんが少なく、実施は殆どできていません

21)学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか

はい 7名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 4名

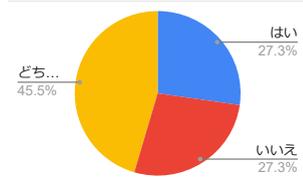


※21)に関して改善目標、工夫している点など

学校連携は保護者の方から要望があった際に行っていますが、全てのお子さんにはできていません/必要なケースは学校に当社から積極的に連絡を取り、情報共有を実施し、連携した支援をしている。

22)医療的ケアが必要な子供を受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか

はい 3名  
 いいえ 3名  
 どちらともいえない 5名

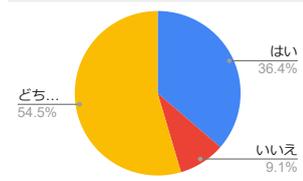


※22)に関して改善目標、工夫している点など

自分が把握していません/現在受け入れを行っていません/受け入れ実績なし

23)就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか

はい 4名  
 いいえ 1名  
 どちらともいえない 6名

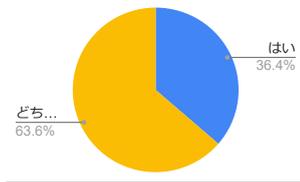


※23)に関して改善目標、工夫している点など

自分が把握していません/学校連携同様、保護者の方から要望があった際に行っていますが、全てのお子さんにはできていません/今後は必要なケースに対して、申し送り実施を先方と相談できるとよい。

24)学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか

はい 4名  
いいえ 0名  
どちらともいえない 7名

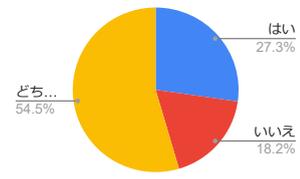


※24)に関して改善目標、工夫している点など

ご本人・保護者の承諾を得られた際に同法人の福祉サービスに繋がる場合はこれまでの支援記録を共有しています / 23) に同じ

25)児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか

はい 3名  
いいえ 2名  
どちらともいえない 6名

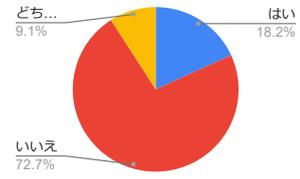


※25)に関して改善目標、工夫している点など

自分が把握していません / まだ連携事例がありません

26)放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか

はい 2名  
いいえ 8名  
どちらともいえない 1名

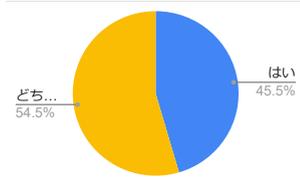


※26)に関して改善目標、工夫している点など

自分が把握していません

27) (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか

はい 5名  
いいえ 0名  
どちらともいえない 6名

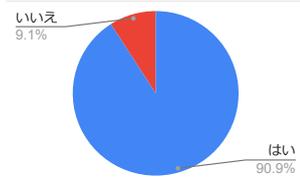


※27)に関して改善目標、工夫している点など

自分が把握していません / 自身は未参加、拠点では、児発管がケース事例を発表するなど積極的に情報共有して下さっている。

28)日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか

はい 10名  
いいえ 1名  
どちらともいえない 0名

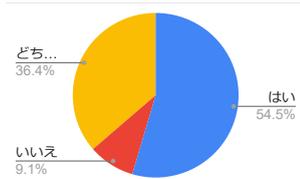


※28)に関して改善目標、工夫している点など

ご相談があった際は電話、メール、必要に応じて面談機会や関係機関連携をしている。

29)保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか

はい 6名  
いいえ 1名  
どちらともいえない 4名

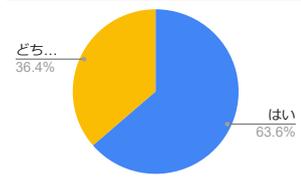


※29)に関して改善目標、工夫している点など

全社で行っていますが、今後事業所単位でも実施予定です

30)運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか

はい 7名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 4名

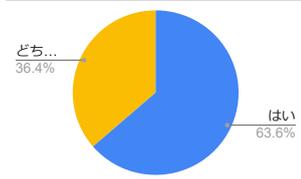


※30)に関して改善目標、工夫している点など

—

31)保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか

はい 7名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 4名

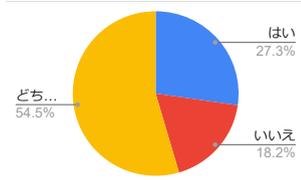


※31)に関して改善目標、工夫している点など

—

32)父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか

はい 3名  
 いいえ 2名  
 どちらともいえない 6名

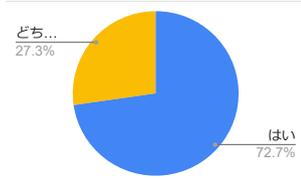


※32)に関して改善目標、工夫している点など

自分が把握していません / 不定期開催、今後計画的に学校の1年の流れを所内で共有して、実施できるとよい。

33)子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか

はい 8名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 3名

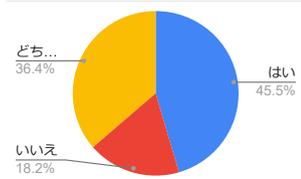


※33)に関して改善目標、工夫している点など

迅速に拠点、所内で検討し、自治体にも報告、助言をもらっている。

34)定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか

はい 5名  
 いいえ 2名  
 どちらともいえない 4名



※34)に関して改善目標、工夫している点など

定期メール量を厳選しないと、保護者の負担になっているのか、未開封の方も部分的にいる

35)個人情報に十分注意しているか

はい 11名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 0名

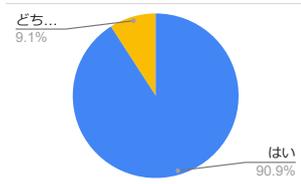


※35)に関して改善目標、工夫している点など

Wチェック、指差し確認、離席時にPCスリープ、本人面談は個室で実施する

36)障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか

はい 10名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 1名

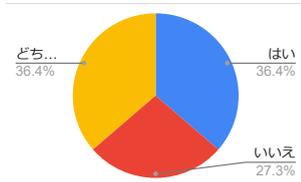


※36)に関して改善目標、工夫している点など

要支援保護者に対する理解と具体的な手立てをチーム内で共有していきたい。

37)事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか

はい 4名  
 いいえ 3名  
 どちらともいえない 4名

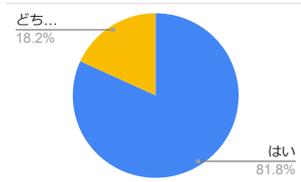


※37)に関して改善目標、工夫している点など

近隣の児童発達支援事業所の体験受け入れなど、少しずつ地域連携を行っています

38)緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか

はい 9名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 2名

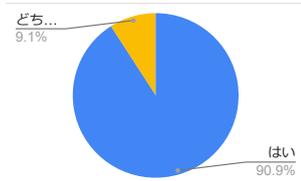


※38)に関して改善目標、工夫している点など

-

39)非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか

はい 10名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 1名

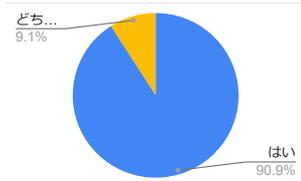


※39)に関して改善目標、工夫している点など

年2回避難訓練を実施しています

40)虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか

はい 10名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 1名

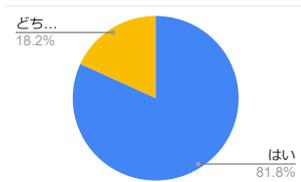


※40)に関して改善目標、工夫している点など

ケースによっては、児童相談所へ対応を相談、情報共有している。

41)どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか

はい 9名  
 いいえ 0名  
 どちらともいえない 2名

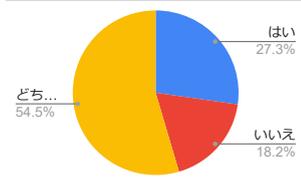


※41)に関して改善目標、工夫している点など

-

42)食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか

はい	3名
いいえ	2名
どちらともいえない	6名

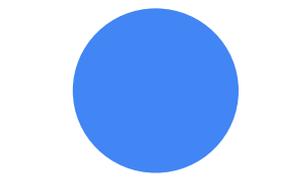


※42)に関して改善目標、工夫している点など

自分の知識がありません / 食事提供はありませんが、アレルギーの有無は入所時にお伺いしています。医師の指示書までは確認できていません / お仕事体験で食品を扱うプログラムがあるので、契約の際に全員に確認して配慮の必要な方には作成を依頼した方がよいと思う。

43)ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか

はい	11名
いいえ	0名
どちらともいえない	0名



※43)に関して改善目標、工夫している点など

—

3. 事業所考察

- ・②「職員数の配置数」について、69.2%→81.8%に上昇した。スタッフの勤務年数もあがり、お子さんの状況を把握し行動できるようになった結果だと考えられる。併せて、④「個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか」についても、69.2%→90.9%に上昇しており、スタッフが意欲的に支援に関わることができていることがうかがえる。
- ・前年度課題であった⑥「自己評価結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか」についても、スタッフの勤務年数が上がったこと・常勤スタッフの周知により、53.8%→72.7%に改善されている。
- ・一方で34)「定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定・連絡体制の情報を子どもや保護者に対して発信しているか」については、スタッフから「定期メール量を厳選しないと保護者の負担になっているのか、未開封の方もいる」とコメントがあり、伝えるべき情報・伝えなくてもよい情報の整理が必要と考えられる。

【総評】

前年度課題であった「保護者へ分かりやすい情報伝達」について、今年度は保護者会イベントや保護者参観を開催し、保護者とスタッフが直接関わる機会を設けていった。結果、①の保護者同士の連携・家族に対する支援の満足度は前年度68.9%→75%に上昇した。ただ一方で、⑩「将来を見据えた助言等の支援が行われているか」については77.8%→71.4%に低下。イベント日があわずなかなかスタッフと話す機会がない・情報が分かりづらいなどのご意見もあるため、保護者との連携・情報伝達は継続課題としても捉えられる。次年度においては、関係機関連携・進学先の情報収集の強化、対面のペアレントトレーニングを定期開催など、保護者との繋がりをより強化していきたい。また、スタッフアンケートからも「情報量が多く、保護者が把握しきれない」という意見も上がったため、伝えるべき情報・伝えなくてもよい情報整理しながら情報伝達を考えていきたい。

結果について 11月29日に事業内会議にて共有・討議を行った。保護者へのフィードバック12月に実施、かつ事業所内に提示した。